

国内最大級の健康産業 B to B 商談展

健康博覧会

Tokyo Health Industry Show 2013

2013年3月13日(水) ≫ 15日(金) 10:00-17:00 東京ビッグサイト 東4・5・6ホール

国内最大級の健康産業商談展「健康博」は、
次なる30年を視野に進化します。

国内はもとより海外からも注目を集める「健康博」。「健康産業のすべてが分かる展示会」として30年間成長を続けてきましたが、次なる30年の成長に向け、新たな進化が始まっています。多様化する生活者ニーズに対応した情報を一堂に集め、より効率的にバイヤーの皆様が目的の製品をお探しいただけるように健康博覧会は7つの専門展示会に!

健康食品・サプリメント展

Health Food & Supplements

特定保健用食品、健康食品、サプリメント、健康茶、機能性菓子、健康飲料、介護・高齢者向け食品 など

健康機器展

Health Check & Health Care

ヘルスチェック機器・リービス、ヘルスケア機器・リービス、温熱・温浴装置、各種健康機器・雑貨、空気清浄器、加湿器、浄水器・整水器、ウォーターサーバー、健康道具・快眠関連、健康ジュエリー、機能性衣料 など

化粧品&美容商材展

Cosmetics & Beauty

美容機器・グッズ、化粧品、スキンケア・ボディケア・ヘアケア商品、アロマ関連、エイジングケア関連、美容リフト・ドリンク、ダイエット食品、ネイル、美容リポート衣料、美容素材OEM(化粧品、美容食品、美容機器・グッズ)、容器・パッケージ など

入場料が無料になる
事前来場登録はこちら

www.this.ne.jp

健康博覧会

検索

健康博 twitter ID: @kenkohaku

オーガニック&ナチュラル・プロダクツ展

Organic & Natural Products

自然食品、伝統食品、オーガニック認証食品・飲料、マクロビオティック食品、ベジタリアン・ヴィーガン向け食品、自然派・オーガニック化粧品・雑貨、オーガニックコットン、自然素材の衣類・生活用品 など

健康・美容通販サポート展

Direct Marketing

通販フルフィルメントシステム、通販サイト構築、物流・倉庫サービス、決済サービス、コールセンター、DM発送代行、CRM、海外進出サポート、コンサルティング など

フィットネス&スポーツ展

Fitness & Sports

スポーツウェア、シューズ・インソール、サポーター・コルセット、サポートアクセサリ、各種スポーツギア、フィットネス・トレーニング機器、ヨガ関連、薬学カプセル、ウォーターサーバー、スポーツニュートリション など

TOKYOヘルスコレクション

Tokyo Health Collection

日本健康科学学会主催による
専門性の高い
セミナー/シンポジウムを開催。

● 主催: UBM UBMメディア株式会社 ● 企画: 健康産業新聞

〒101-0044 東京都千代田区錦糸町1-8-3 神田91ビル UBMメディア株式会社内
Tel: 03-5296-1025 Fax: 03-5296-1018 E-mail: h-expo-jp@ubm.com

行政法律 — 最新の情報をおさえ、リスクを回避する

F-11 ¥5,000 3/13(水)10:00▶11:20

判例・事例にみる薬事法違反の傾向と対応策

本講座では薬事法違反の最近の傾向、依然として後を断たない薬事法59条違反(承認前の医薬品等の広告禁止違反)や法解釈などについて、判例や事例をもとに具体的に紹介し、法令遵守のための対応策を学ぶ。

TMI総合法律事務所 弁護士 **石原 修氏**

E-23 ¥3,000 3/14(木)13:30▶15:00

エグゼクティブ・サプリメント会議主催 パネルディスカッション

北海道版「機能性表示制度」の全容と今後への期待

北海道フード特区の特例措置に基づく北海道版「食品の機能性表示制度」の運用が4月よりスタートする。申請、評価など具体的な作業の全容がほぼ固まり、4月に申請の受付を開始。早ければ3月には北海道知事が認許した第1号の健康食品が誕生する。こうした動きが、全国の自治体の6次産業化の動きなどに弾動するの、地方自治体の関心も高まっている。取り組みの全容に加え、マスコミ、消費者団体、地方組織、産業界の方などを迎え、機能性表示の必要性と期待について議論する。

(社)北海道バイオ工業会 事業企画・運営委員会 主幹手 **三浦 健人氏**

F-21 ¥3,000 3/14(木)10:30▶11:50

健康食品、化粧品等の広告における適正表示の在り方

食品表示法に基づく適正表示の在り方について、特に健康食品、化粧品を中心に違反パターンや具体的事例、広告表示に関する留意点などについて解説する。

消費者庁表示対策課 食品表示調査官 **植木 正樹氏**

F-31 ¥3,000 3/15(金)10:30▶11:30

栄養成分表示義務化に向けた動きと企業が取るべき対応策

今年の通常国会に提出される「新食品表示法(仮称)」に係る法案が可決されれば、栄養成分表示は原則として「全ての加工食品、事業者に義務付け」される見通しだ。事業者がすべき対応や義務化に向けた環境整備の在り方の状況、栄養成分表示ガイドラインの最新情報などを食品表示課の担当官がわかりやすく説明する。

消費者庁食品表示課 衛生課官 **米倉 礼子氏**

海外参入 — 元気な成長市場を知る

F-14 ¥3,000 3/13(水)14:40▶16:00

大改正された中国保健食品制度の概要と市場に対する影響

中国SFDAでは錠剤・カプセル形状の食品の安全対策の強化に乗り出している。一方、中国保健食品の制度改正に伴い、審査も厳格化され、品質・安全対策の水準が高い日本企業にとっては有利な環境が整いつつある。本講演では、一般食品と保健食品に関する法規、保健食品の許可申請制度、市場に対する影響について説明する。

中国保健協会コンサルテーション委員会 副会長 **高 鵬氏**

F-15 ¥3,000 3/13(水)16:10▶17:00

急成長する中国保健食品市場の全貌と販売チャネル別の動向、成功事例

本講演では、中国保健食品市場の歴史と発展までの経緯を解説し、中国保健食品の販売チャネル別の動向と保健食品企業の成り立ちを紹介する。

中国保健協会コンサルテーション委員会 秘書長 **王 鶴松氏**

F-24 ¥3,000 3/14(木)15:00▶16:00

ハラール食品 海外市場の現状と可能性を探る

30兆円とも50兆円ともいわれるハラール食品市場。ここ数年、健康食品市場においてもハラール認証を取得する機会が増えており、その関心の高さがうかがえる。本セミナーでは、ハラールの概念や認証制度のほか、海外におけるハラール食品市場の現状や展望についてわかりやすく解説する。

中東大学総合政策学部 農学博士 **並河 良一氏**

F-32 ¥3,000 3/15(金)13:00▶14:30

拡大するアジア市場の可能性とサプリメント最新事情

世界最大の13億人のマーケットを持つ中国。機能性食品の開発を行政が支援する場面などに加え、市場拡大が急速に進むインド。現地に精通している各専門家が、拡大するアジアのサプリメント市場の最新事情(制度、市場動向、将来展望)を報告する。

パネリスト **太陽化学(株) 代表取締役副社長 太田 隆氏**

パネリスト **上海同東バイオテックジャパン(株) 代表取締役社長 陳 建君氏**

パネリスト **(株)TTC 代表取締役社長 山本 哲郎氏**

パネリスト **ジュネジャレカラジュ氏**

新聞イチオシ — 業界No.1専門紙健康産業新聞がオススメするビッグアップ素材

F-13 ¥3,000 3/13(水)13:20▶14:30

第一部:食物繊維の新しい視点 ~ルミナコイド研究の展望
第二部:食物繊維としてのβ-グルカン

第一部:日本食物繊維学会が、食物繊維を包括した用語として提唱している新しい造語「ルミナコイド」、食物繊維、オリゴ糖、糖アルコール、レジスタントプロテイン、難消化性デキストリン、寡少糖などを包括する「ルミナコイド」。日本食物繊維学会の奥恒行理事長が、今後のルミナコイド研究の方向性について解説する。第二部:食物繊維の一種「β-グルカン」。酵母やキノコ類に含まれるこの機能性成分の最新の知見を報告する。

(社)日本食物繊維学会 理事長 **奥 恒行氏**

β-グルカン協議会

F-23 ¥3,000 3/14(木)13:50▶14:40

ドクターが教える効果的なプラセンタサブリ利用法

今、美容業界で大きなキーワードとなっているのが、「内外美容」。中でもプラセンタは、化粧品からサプリメント、美容菓子に至るまで幅広く採用される人気素材。プラセンタ治療の第一人者が、プラセンタサプリメントの効果的な利用法を語る。

日本胎盤臨床研究会 理事長 **長瀬 眞彦氏**

F-33 ¥3,000 3/15(金)15:00▶16:00

トクホへ向けて注目「サラシア属植物」

「サラシア属植物」は、UGT1A1活性阻害にもとづく血中薬物上昇抑制や脂肪吸収抑制などの研究が進むとともに健康分野での採用が進み、ここ数年で急速に認知を広げた。とくに最近では富士フィルムの「メタバリアNEO」をはじめ、ダイエット訴求策としての展開が本格化。トクホ分野でもサラシア属植物を使用した商品が富士産業、小林製薬から申請中だ。現在市場規模は100億円と躍り上がっている注目素材について、第一線の研究者として携わってきた和政氏が今後の展開を解説する。

城西大学大学院薬学研究科機能性食品科学講座 城西大学薬学部薬科学科・医療栄養学科 教授 **和田 政裕氏**

日本健康科学学会 健康フォーラム
TOKYOヘルスコレクション

— 専門性の高い確かな情報を知る

F-12 聴講無料 3/13(水)12:00▶13:00

健康食品GMP制度の行方
第一部:アドバイザースタッフのGMP教育の重要性
第二部:健康食品GMP制度の意義と進むべき方向性

GMP制度の普及を今後さらに推進するためには、消費者の認識の向上と、品質保証がなされた製品を識別するニーズを高めることが必要と考えられる。そこで、アドバイザースタッフが消費者にGMP制度の情報提供を行うための説明用教材「GMP教育ツール」を開発した。アドバイザースタッフが本ツールを使用して一般消費者に説明できるようにするには、最初にアドバイザースタッフの教育を行う必要がある。本講演では、GMP教育ツールの意義、中身、またアドバイザースタッフへの教育の重要性について解説する。

日本健康科学学会 理事長 **信川 益明氏**
厚生労働省 医薬食品局 新開発食品保健対策室 専門官

F-22 聴講無料 3/14(木)12:00▶13:30

アドバイザースタッフの現状と課題、有効活用について

健康食品のアドバイザースタッフ制度は2002年の厚生労働省ガイドラインを契機に10年が経った。ただ、一般の認知度の低さや資格取得者の活躍の場がない、といった問題を抱えている。今後、資格の認知・拡大に向けた取り組みはどうなるのか。資格取得者の活躍の場創出は、有力資格の養成を行う代替者が、今後のアドバイザースタッフのあり方について議論する。

コーディネーター **日本健康科学学会 理事長 信川 益明氏**

パネリスト **(財)日本健康・栄養食品協会 常務理事 加藤 博氏**

パネリスト **(社)日本臨床栄養協会 理事長 橋詰 直孝氏**

パネリスト **(社)日本食品安全協会 理事長 長村 洋一氏**

F-25 ¥3,000 3/14(木)16:10▶17:00

内部被ばくは本当にあるか 適切な食品選択を知る

福島県南相馬市・南相馬市立総合病院で行われた約2万人を対象とした内部被ばく検査の結果が今年、米学術誌JAMAに発表された。報告書をもとめた同氏の最新の調査結果では、「体内から放射線物質はほとんど検出しない」レベルにまで低下している。最新の美観調査結果、また、どんな食品を選び、どんな食品は安全なのかを解説する。

東大医科学研究所 医師 **坪倉 正治氏**